

## 2. フィリピンのお葬式

いつの時代もどの国にいても、愛する人とのお別れは悲しく寂しいものです。異国での葬儀のしきたりやマナーはなかなか学べる機会が少ないように感じます。

宗教や宗派、地域によっても違いがあるかと思いますが、今回とあるフィリピン人と日本人に、葬儀の内容や参列について取材を行い、日本人が気になる点をいくつか質問してみました。

### Q.ドレスコードは？

基本的に白色か黒色の装いで。正装のバロンでなくても大丈夫ですが、赤色は特に避けられていますので要注意。アクセサリも赤色を避ければどのようなものを身につけても良いそうです。

### Q.葬儀の流れは？

#### ① Wakeと呼ばれる儀式を自宅 or 葬儀場にて

Wake(ウェイク)というのはお通夜のような儀式。祭壇は故人の遺影や主に白色を基調としたお花で飾られており、故人の周りには故人と夜を共にしたい人々が横になって休んでいることも。日本の葬儀場と大差ない空間のため違和感がなく、宗教的にも大きく違うのに不思議に思えた、という声もありました。参列に訪れるフィリピン人は畏まった服装というよりは普段着の装いの方が多く見受けられました。

参列者は、日本のお香典にあたるお金(Abuloy、アブロイ)を親族に渡したり、故人のお顔を拝見したりお祈りをします。その場に用

意されているお菓子等を食べながら故人を偲んだり親族に弔いの言葉をかけたりして共に時間を過ごすそうです。

## ②教会への移動とお祈り

Wake の後、多くの方が教会にて神父と共に祈りを捧げます。カトリック教の場合、教会で聖水を故人にかける儀式があるそうです。

## ③墓地への移動と埋葬

フィリピンでは土葬が主流です。教会から墓地へ移動し、主に隣人や友人が棺を担いで埋葬します。参列者は教会に飾られていたお花を墓地まで持ってきたり、墓地にある白色のお花を棺の上に手向け、最後のお別れをします。



## ④ご遺族の自宅に戻り食事を共に

日本でも多く行われる葬儀後の食事。フィリピンでも同じように参列者に振舞われます。ランチの時間帯に多く行われるようで、主なメニューとしては Menudo(メヌード、豚肉や鶏肉、ソーセージと野菜のトマト煮込み)や Adobo(アドボ、豚肉や鶏肉のにんにく醤油煮)が出されるそうです。

## Q.お供えのお花やお菓子、お金はどのようにしたら良いの？

特に何も持たずに参列するのも問題はないそうです。バランガイの位の高い人などはお花を、近隣住民はビスケットなどのお菓

子を送ることが多いようで、お花は生花店から葬儀用のお花を送ることができるそうです。

お金(Abuloy)を渡す場合、日本と同様故人との関係性によりますが、フィリピン人同士の場合は P500 以上包むのが一般的なようです。



### Q.コロナ禍での葬儀は？

時期や地域によって違いがあるかと思いますが、某所さはコロナ禍の葬儀は故人のコロナの検査結果が陰性であった場合に執り行うことができました。Wake の内容としては、パンデミック以前の一般的な葬儀と差異なく故人をお見送りすることができたそうです。

取材を通して、国や宗教が大きく違えど日本と共通する部分もたくさんあることが分かりました。故人、そしてそのご家族を温かく見守る気持ちが伝わるのが一番だと感じました。

(K・O)

